

## 2025年9月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年5月14日

上場会社名 川岸工業株式会社 上場取引所

コード番号 URL http://www.kawagishi.co.jp 5921

表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清時 康夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 薮田 浩志 (TEL) 04-7143-1331

半期報告書提出予定日 2025年5月15日 配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第2四半期(中間期)の業績(2024年10月1日~2025年3月31日)

### (1)経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利	益	中間純和	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	11, 764	△15.3	958	14. 9	1, 089	7. 9	721	△5.8
2024年9月期中間期	13, 895	5. 7	833	△0.1	1, 009	3. 4	765	1.8
	1株当たり 中間純利益		潜在株式 1株当7 中間純	こり				
		円銭		円 銭				
2025年9月期中間期		254. 68		_				
2024年9月期中間期		257. 26						

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	33, 441	27, 804	83. 1
2024年9月期	34, 170	28, 203	82. 5

(参考) 自己資本 2025年9月期中間期 27,804百万円 2024年9月期 28,203百万円

### 2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銵	円銭	円銭	円銭	円 銭			
2024年9月期	_	0.00	_	150.00	150.00			
2025年9月期	_	0.00						
2025年9月期(予想)			_	105. 00	105. 00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年9月期の業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	
通期	27, 000	∆2. 1	1, 200	△28.1	1, 400	△29. 2	1, 000	△31.9	352. 91	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

### ※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年9月期中間期	3, 000, 000株	2024年9月期	3, 000, 000株
2025年 9 月期中間期	282, 862株	2024年9月期	99, 585株
2025年 9 月期中間期	2,833,615株	2024年9月期中間期	2, 977, 275株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況
(1)当中間期の経営成績の概況
(2)当中間期の財政状態の概況
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明
2. 中間財務諸表及び主な注記
(1) 中間貸借対照表3
(2) 中間損益計算書
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書
(4) 中間財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)
(中間貸借対照表関係に関する注記)
(セグメント情報等の注記)
(重要な後発事象の注記)
3. 補足情報
受注及び売上の状況

#### 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国経済は、非製造業はインバウンド需要が底堅く、原材料費や人件費のコスト上昇 分の価格転嫁が進んだことにより景況感は改善しています。

一方、製造業はトランプ米政権による関税政策や原材料コストの上昇、中国や欧州の海外経済の減速などを背景 として、追加関税の影響を受ける輸出比率の高い業種では景況感が悪化しております。

これまで、堅調に推移してきた景況感も、米国の新政権による通商政策動向の不確実性など、国際情勢の不安定 感の高まりによる国内経済への悪影響と、原材料費や人件費といったコスト上昇の懸念に加え、物価高による個人 消費の停滞から、先行きの不透明感は強まってきております。

当業界においては、首都圏を中心とした大型案件では底堅い需要が見込まれ、建設予算について発注者の理解も進んでいることから、受注価格へのコスト転嫁が徐々に進むことで、状況の改善が期待されております。

しかしながら、足元では、建設コストの高騰による鉄骨需要の鈍化から、工場稼働率が低下した状態が続いており、回復までには時間がかかる見通しであります。

このように、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況にありますが、「適正な受注価格」を維持しつつ、「受注を確保」することが、現在の最重要課題となっております。

このような環境のなか、当社は「受注の確保」が最優先課題であると鋭意努力しましたが、当中間期の受注高は、前年同期比20.3%減の13,173百万円となりました。売上高は、一部工事の建設価格の上昇による計画の先送りや工程の遅れ等により、工場加工及び現場作業の稼働率が低下した影響を受けて前年同期比15.3%減の11,764百万円となりました。

損益面については、売上は伸び悩んだものの、前期に受注した採算性の良い大型工事の完成及び設計変更の獲得等により、営業利益は958百万円(前年同期比14.9%増)、経常利益は1,089百万円(前年同期比7.9%増)となりました。また、特別損失に補償損失引当金繰入額を計上した結果、中間純利益は721百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

### ① 資産、負債、純資産の状況

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末の34,170百万円から33,441百万円と729百万円減少しました。その主な要因は、現金預金等が増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金等及び有形固定資産等が減少したことによるものであります。

総負債は、賞与引当金等が増加したものの、工事未払金の減少等により、前事業年度末比329百万円減少し5,637 百万円となりました。

純資産は、利益剰余金等が増加したものの、自己株式の取得による増加等により、前事業年度末比399百万円減少 し27,804百万円となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1,897百万円増加し、3,157百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動の結果、増加した資金は3,086百万円(前年同中間会計期間は297百万円の減少)となりました。これは、売上債権の減少等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動の結果、減少した資金は59百万円(前年同中間会計期間は324百万円の減少)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出及び投資有価証券の償還による収入等によるものであります。 (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動の結果、減少した資金は1,129百万円(前年同中間会計期間は448百万円の減少)となりました。これは、自己株式の取得による支出及び配当金の支払による支出等によるものであります。

#### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の決算予想につきましては、2024年11月14日に公表しました業績予想から変更しておりません。

# 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1, 269, 971	3, 167, 634
受取手形・完成工事未収入金等	23, 276, 776	20, 884, 080
材料貯蔵品	593, 613	569, 69
未収入金	18, 672	12, 30
その他	297, 813	279, 22
流動資産合計	25, 456, 846	24, 912, 93
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	2, 004, 464	1, 942, 85
機械・運搬具(純額)	1, 209, 618	1, 196, 78
土地	3, 413, 864	3, 318, 95
その他 (純額)	40, 795	28, 99
有形固定資産合計	6, 668, 742	6, 487, 59
無形固定資産	48, 226	53, 73
投資その他の資産		
投資有価証券	1, 586, 678	1, 483, 52
その他	436, 988	530, 72
貸倒引当金	△26, 668	$\triangle 26,77$
投資その他の資産合計	1, 996, 999	1, 987, 47
固定資産合計	8, 713, 967	8, 528, 79
資産合計	34, 170, 814	33, 441, 73
負債の部		
流動負債		
工事未払金	4, 353, 418	3, 917, 45
未払法人税等	294, 399	343, 59
賞与引当金	137, 055	360, 36
補償損失引当金	_	54, 50
その他	677, 949	452, 02
流動負債合計	5, 462, 822	5, 127, 93
固定負債		
退職給付引当金	212, 845	205, 35
資産除去債務	40, 624	40, 77
その他	251, 165	263, 42
固定負債合計	504, 635	509, 54
負債合計	5, 967, 458	5, 637, 48

(単	14	千	Ш	\
1 #	-11/	- 1	$\overline{}$	,

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	955, 491	955, 491
資本剰余金	671, 097	667, 044
利益剰余金	26, 265, 941	26, 552, 543
自己株式	△398, 752	△1, 069, 288
株主資本合計	27, 493, 777	27, 105, 790
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	709, 578	698, 451
評価・換算差額等合計	709, 578	698, 451
純資産合計	28, 203, 355	27, 804, 241
負債純資産合計	34, 170, 814	33, 441, 730

# (2) 中間損益計算書

		(単位:千円)
	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
完成工事高	13, 895, 667	11, 764, 275
完成工事原価	12, 604, 180	10, 323, 109
完成工事総利益	1, 291, 487	1, 441, 166
販売費及び一般管理費		
役員報酬	70, 884	71, 053
従業員給料手当	191, 586	194, 878
退職給付費用	4, 725	4, 769
株式報酬費用	12, 495	17, 075
法定福利費	34, 718	33, 012
福利厚生費	4, 756	8, 278
教育研修費	_	1,080
修繕維持費	5, 212	4, 290
事務用品費	7, 065	7, 591
通信交通費	18, 536	19, 742
動力用水光熱費	2, 794	3, 094
調査研究費	573	1, 201
広告宣伝費	140	_
交際費	3, 714	3, 831
地代家賃	10, 806	10, 905
減価償却費	9,899	11,006
租税公課	41, 613	43, 394
保険料	3, 128	2, 965
雑費	34, 857	44, 961
販売費及び一般管理費合計	457, 507	483, 133
営業利益	833, 979	958, 033
営業外収益		
受取利息	2	49
有価証券利息	2, 356	1, 528
受取配当金	18, 722	22, 627
不動産賃貸料	51, 856	55, 796
鉄屑売却益	91, 915	43, 979
その他	22, 430	17, 909
営業外収益合計	187, 284	141, 891
営業外費用		
支払利息	_	909
賃貸費用	6, 496	6, 740
その他	5, 293	2, 647
営業外費用合計	11, 789	10, 297
経常利益	1,009,474	1, 089, 626
特別損失		
補償損失引当金繰入額	_	54, 500
特別損失合計	_	54, 500
税引前中間純利益	1, 009, 474	1, 035, 126
法人税等	243, 554	313, 462
中間純利益	765, 919	721, 664

# (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

		(単位:千円)
	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	1, 009, 474	1, 035, 126
減価償却費	254, 006	253, 033
株式報酬費用	12, 495	17,075
貸倒引当金の増減額(△は減少)	70	107
退職給付引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 1,024$	$\triangle 7,491$
受取利息及び受取配当金	△21, 081	△24, 204
支払利息	_	909
補償損失引当金の増減額(△は減少)	_	54, 500
売上債権の増減額(△は増加)	$\triangle 2, 371, 528$	2, 392, 696
その他の棚卸資産の増減額 (△は増加)	△235 <b>,</b> 731	23, 922
仕入債務の増減額(△は減少)	1, 185, 516	$\triangle 435,959$
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△129, 090	△1,854
その他	185, 514	△33, 917
小計	△111, 379	3, 273, 942
利息及び配当金の受取額	21, 233	24, 384
利息の支払額	_	△909
法人税等の支払額	△206 <b>,</b> 965	△211, 401
営業活動によるキャッシュ・フロー	△297, 111	3, 086, 015
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△321, 185	△144, 705
有形固定資産の除却による支出	△2, 880	△1, 252
無形固定資産の取得による支出	△714	△13, 160
貸付けによる支出	△70	△107
投資有価証券の償還による収入	_	100, 000
その他	45	118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△324, 804	△59, 107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	_	1, 500, 000
短期借入金の返済による支出	_	△1, 500, 000
自己株式の取得による支出	△110, 669	△719, 099
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増 加)	△39, 494	24, 549
配当金の支払額	△296, 807	△433, 446
その他	△1, 379	△1, 247
財務活動によるキャッシュ・フロー	△448, 351	△1, 129, 244
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1, 070, 267	1, 897, 663
現金及び現金同等物の期首残高	3, 596, 023	1, 259, 971
現金及び現金同等物の中間期末残高	2, 525, 755	3, 157, 634

#### (4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年1月31日開催の取締役会決議に基づき、取得株式総数200千株、取得価額総額800,000千円を上限として自己株式の取得を進め、当中間会計期間において自己株式を182,300株、670,864千円取得いたしました。

なお、2025年2月3日をもちまして、上記決議に基づく自己株式の取得は終了いたしました。

以上のことなどから、当中間会計期間末において、自己株式は1,069,288千円となりました。

### (中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前中間純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (中間貸借対照表関係に関する注記)

### 偶発債務

(高層分譲住宅の外装タイルについて)

当社が製作しました高層分譲住宅の一部外壁タイルの下地コンクリートから異物混入が発生しました。当社は、その補修箇所を特定する調査の費用として見込まれる54,500千円を補償損失引当金として計上しております。

一方、補修により追加の損失が生じる可能性がありますが、現時点ではその影響額を合理的に見積もることが困難であるため、中間財務諸表には反映しておりません。

### (セグメント情報等の注記)

### 【セグメント情報】

当社は、建設業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### (重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

# 3. 補足情報

## 受注及び売上の状況

## 受注状況

## イ. 受注高

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)			3年10月1日 (自 2024年10月1日			前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)		
製品別	数量 (屯・m³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m³)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	33, 023	15, 091, 625	91. 4	23, 273	11, 389, 660	86. 5	56, 725	25, 223, 274	94. 4
プレキャスト コンクリート	9, 679	1, 428, 803	8.6	11, 582	1, 783, 930	13. 5	9, 714	1, 506, 280	5. 6
合計	_	16, 520, 429	100.0	_	13, 173, 590	100.0	_	26, 729, 555	100.0

## 口. 受注残高

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)			当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)			前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)		
製品別	数量 (屯・m³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m³)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	61,810	27, 026, 582	92. 9	55, 132	24, 832, 105	91.8	55, 590	24, 467, 919	95. 4
プレキャスト コンクリート	18, 192	2, 080, 827	7. 1	15, 993	2, 222, 961	8. 2	10, 179	1, 177, 832	4. 6
合計	_	29, 107, 409	100.0	_	27, 055, 066	100.0	_	25, 645, 751	100.0

## ② 売上実績

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)			当中間会計期間 (自 2024年10月1日			前事業年度 (自 2023年10月1日		
				至 2025年3月31日)			至 2024年9月30日)		
製品別	数量 (屯・m³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m³)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	30, 516	13, 021, 385	93. 7	23, 731	11, 025, 474	93. 7	60, 438	25, 711, 697	93. 3
プレキャスト コンクリート	7, 336	874, 281	6. 3	5, 768	738, 801	6. 3	15, 383	1, 854, 753	6. 7
合計	_	13, 895, 667	100.0		11, 764, 275	100.0	_	27, 566, 451	100.0